

# アメリカの大学におけるテレビ利用

Pertter J. Dirr, Joan H. Katz & Ronald J. Pedone 著

阿部美哉・浜野保樹 訳

## 読者へ

公共放送事業団 (Corporation for Public Broadcasting:CPB) と全米教育統計センター (National Center for Educational Statistics:NCE S) は、本報告書の作成にさきだって、教育におけるテレビ、ラジオ、その他関連機器の使用を記録しモニターする共同研究を実施した。

この高等教育による放送利用の研究(Higher Education Utiltization Study:HEUS) は、高等教育機関のテレビ利用に関する最初の全国的調査・研究である。これまで研究では、初等、中等、高等教育機関におけるテレビ利用について調査した。今後の研究では、ラジオやその他の関連機器の利用を取り上げる予定である。

アメリカのすべての大学が含まれている本研究は、次に挙げる高等教育機関の協会と協力して実施された。

アメリカ短期大学協会(American Association of Community and Junior Coleges:AACJC)

アメリカ州立大学協会 (American Association of State College and Universities:AASCU)

アメリカ大学協会 (Association of American Colleges: AAC)

全米州立及び国有地被払下大学協会(National Association of State Universities and Land-Grant Colleges:NASULGC)

全米私立大学協力 (National Institute of Independent Colleges and Universities:NIICU)

各機関の協力を感謝する次第である。

Robben W. Fleming

Marie D. Eldridge

**謝辞**

本研究にご協力いただいた高等教育機関の協会に感謝する。特に、AACJCのMarilyn Kressel、NASULGCのSusan Fratkin、NICU及びAACのVirginia Fadil Hodgkinsonの三氏にはひとかたならぬお世話になった。また調査票の回答のために時間を割いていただいた大学関係者にも感謝する。

本報告書の初稿はPBS成人学習部門部長Dee Brock 女史、ノーザン・バージニア・コミュニティ・カレッジの開放教育研究所のHyman Field 博士、ペンシルバニア州立大学のメディア学習リソースズのディレクターMarlowe Forke 博士の三氏に検討していただいた。これらの以上の方々から貴重なコメントと有益な示唆をいただいたことを特記して、感謝する次第である。

## A. はじめに

高等教育利用研究 (Higher Education Utilization Study: HEUS) は公共放送協会 (CPB) と全米教育統計センター (NCES) の共同研究で、アメリカの大学におけるテレビとラジオの使用についての調査である。

大学のテレビ利用のみを扱った第1期の研究では、アメリカの全大学に関する調査を行うために、CPBとNCESはアメリカ短期大学協会、アメリカ州立大学協会、アメリカ大学協会、合衆国州立大学及び土地受給大学協会及び全米私立大学協会に協力を依頼した。調査対象とした大学は、高等教育関連協会のリストと、77-78年NCES大学名簿から抽出した。

NCESの大学名簿によると、77-78年度にアメリカには、3,130の大学があった。第I段階 (Phase I) 調査では次の大学は含まれていない。

- (a) 調査範囲外の地域の大学
- (b) アメリカ軍関係の学校
- (c) 教育プログラムを持たない大学
- (d) 調査期間中に閉鎖された大学
- (e) 高等教育の団体に承認されていない大学

上記に該当する大学は、137校あったので、結果的に2,993大学が調査対象となった。

1979年春、これら全大学の学長に対して、高等教育へのテレビ利用の研究の目的を記した手紙を送付し、調査票 (付録A参照) も同封した。回答を受けとるために約3週間の裕余をとった。裕余期間の後、回答の得られなかった学長に対しては、調査票のコピー (第二通め) を送付した。さらに4週間たっても回答を得られない大学に対して、第三通めを送付した。

短期大学の学長には、AACJCが手紙を送付した。4年制公立大学においては、NASULGGとAASGUが手紙を送付した。私立大学には、ACとNAIGUが手紙を送付した。回答回収の時期については、大学の類に応じて多少のずれを配慮した。

最後まで回答してこなかった大学については、電話によるデータの回収を行った。無回答による結果の歪みを最小限度にするために、全大学を地域管轄、設置者の種類（公立とか私立）、与える称号（すなわち2年制か4年制）及び学生数によって区分した。このように144のカテゴリーに分類し各カテゴリーの回収率をモニターし、各カテゴリーの回収率が90%以上になるまで、調査票を送り続けた。

調査対象となった2,993大学の全回答率は94%であった。（表1参照）

第1表 現存高等教育機関と回答率（1978-79年度）

	全体	2年制(短期)	公立4年制	私立4年
対象大学数	2,993	1,154	453	1,386
回答数	2,812	1,067	410	1,335
回答率	94%	92%	91%	96%

フォロー・アップ調査と高い回答率を勘案すれば、無回答分のデータもい確率であてはまるに違いない。無回答分のデータは、本報告書に示されている予測部分に含まれている。

HEUS第一段階調査の調査方法と回収手順の詳細は、Higher Education Utilization Study: Technical Reportに示されている（CPBのOffice of

Educational Activitiesで入手できる)。

1980年春、CPBとNCESは再度全米の高等教育関係機関と協力して、大学を限定した研究を行った(HEUS PhaseII)。この研究では、ラジオ(オーディオ)の利用を扱い、さらにテレビとラジオに関する各大学の組織とその利用に対する援助について集中的に調査した。この調査は、教官と学生からの重要な情報を含んでいる。HEUS 第二段階調査の結果は、1981年に公表される予定である。

## B. 主要結果の要旨

調査対象となった2,993校のうち約71%がテレビを利用していることが、本研究によって明らかになった。テレビを利用している大学の61%が教育に利用しており、そのうちの25%はテレビを通じて授業を行い、36%は授業の補足に使用していた。

735校が総計6,884の授業をテレビを通じて開講しており、1大学当たりの平均授業数は9であった。テレビで学んでいる大学生は498,000人で、ひとつの授業当たりの学生数は75人、1大学当たり678人の学生がテレビの授業を受講していた。公立4年制大学の方が、短期大学や私立4年制大学よりもテレビによる授業をより多く開講し、テレビで受講している学生の数も多かった。しかし、この数値は、テレビによる授業を例外的に数多く開講し、テレビで学ぶ学生数が非常に多い2～3の大学があるために歪められている。実状は、テレビでひとつの授業を開講し、それを受講している学生数は20人というのが最も一般的な大学の姿である。

テレビを最も多く利用していたのは、公立の4年制大学であった。これらの大学は、公共テレビ局や商業テレビ局の一般放送よりも、学内の閉回路テレビ (Closed Circuit Television: C C T V) をより多く使用している。公立4年制大学と短期大学のテレビ使用は、授業と補習に同じくらいの比重をかけていた。私立の4年制大学では、テレビを主に補講に使用していた。

学内でのテレビの教育利用は、学外の約3倍にもなり、単位取得のためのテレビによる授業数は、単位取得を目的としないテレビによる授業の5倍になっている。短期大学のテレビ使用は、4年制大学に比べて、学外の教育利

用と新入生募集の宣伝目的のケースが多かった。

大学は、テレビ番組を流すために様々な手段を使用している。その中には、学内の閉回路テレビ（60%）、公共テレビ局（47%）、有線システム（28%）、商業テレビ局（25%）等があった。42%の大学が、学内の閉回路システムを持っていた。また、22%の大学が公共テレビ局を使用していた。

テレビ番組を電波で流している大学は、番組を学外での単位取得のための授業としている比率が高いが、有線システムや学内の閉回路システムを持っている大学は、主に学内での単位取得のための授業にテレビを利用していた。

公立4年制大学は、学内閉回路システムを通じてTV授業の85%を開講し、TV授業を受講している全学生の76%がこれらの授業に参加していた。一方、短期大学では、TV授業の36%を公共放送で開講し、TV授業を受講している学生の64%が公共放送による授業を受講していた。

テレビは、ほとんどの大学において新しいものではなくなっている。回答大学は、平均して過去7年にわたりテレビを利用してきたと報告している。公立4年制大学の利用年数が平均9年間と最も長く、短期大学や私立4年制大学は6年間である。

多くの大学がテレコース（授業のためのTV番組）の配布において、積極的な役割を果たしており、特に、テレコースの制作やテレビ局との共同制作、また、供給されるテレコースの入手において積極的な役割を果たしている。大学が独自に制作したテレコースは、ケーブルシステムで流されることが最も多い。公共放送局と協力関係にある大学のばあいは、公共放送局が事前視聴の施設や時間を提供してくれるような場合も含めて、概して公共放送局が積極的な役割を果たしている。



テレビ・コンソーシアム（共同組合）は、かなりの大学で重要な機関とされている。コンソーシアムの会員になるかならないかは、大学の種類や、テレビ利用方法の全体的状況や、テレビを通して開講している授業数やこれらに登録している学生数と密接に関係している。テレビを教育に利用している大学の28%は、テレビ・コンソーシアムの会員である。短期大学は、テレビ・コンソーシアムの会員となっていることが多い（短期大学40%に比べて、公立4年制大学は29%、私立4年制大学は15%）。テレビ授業を開講している大学は、補講にテレビを使用している大学よりも、テレビ・コンソーシアムの会員である傾向が強い（48%に対して13%）。

テレビ・コンソーシアムの会員大学は、非会員大学よりも電波による放送を使用する傾向が強く、学外での授業、情報提供、新入生に対する宣伝・勧誘のためなどによくテレビを利用している。1979-80年度にはテレビ・コンソーシアムの会員大学では非会員大学に比べて、50%も多く授業がテレビで開講され、140%も多くの方が登録した。

本研究によって、大学でテレビを教育に利用する際に、主たる障害となるものが何であるかが明らかになった。その障害とは、大学側の適切な援助の欠如、学習ニーズや大学の教育水準に合ったテレコースの欠如、テレビを授業に利用することに対する教官の援助の欠如などである。驚くにあたらないが、大学の強い関与、教官の強い援助と関与及び適切なテレコースの存在の3つの要因が、テレビの教育利用を促進するのに大きく貢献していた。

いくつかの要因が、大学の意見や態度と関連していることが明らかになった。授業に利用している大学（補講として利用している大学と比較して）は、テレビの教育利用に影響を与える諸条件により強い影響を受ける傾向がみられた。例えば、テレコースの質が教育利用に関係しているとみなしてい

る割合は、授業に利用している大学では49%であるのに対し、補講としてテレビを利用している大学では22%、教育以外の目的でテレビを利用している大学では11%という結果であった。授業に利用している大学においては、教官の関与の欠如が主な障害であったのに対し、その他の大学では大学の援助の欠如が主な障害であった。

商業テレビ局に依存している大学は、その他の手段で番組を流している大学よりも、テレビの教育利用に満足している。専ら公共テレビ局や商業テレビ局を使用している大学は、促進要因として、放送予定が早い時期にわかることを挙げている。学内のCCTVシステムで流している大学は、不利に作用する要因として、大学の援助が得られないことを挙げている。

テレビ・コンソーシアムの会員大学は、テレビの教育利用について非会員大学とは一部異なる考えを持っている。テレビ・コンソーシアムの会員大学にとっては、テレビを授業に使用する主要な要因は、まず学問的ニーズと大学の水準を満たすテレコースがあることであり、大学の援助や教官の賛同があることであり、テレビ局の経営者からの協力が得られることである。非会員大学において最も強く作用する促進要因は、特定教官の強い関心と、適切なコースの存在であった。テレビの教育利用における障害が、教官の関与の欠如と、大学からの必要な援助である点は会員大学と非会員大学とが一致していた（テレビの教育を促進する条件として、また抑制する条件として現れてくるということは、これらが重要であることを示している）。また、テレビ・コンソーシアムの会員大学は、確かな番組スケジュールの欠如や放映日を前もって知らせないことは、テレビを授業に使用する上で大きな障害になると感じている。

テレビを使用した経験があるかどうか、テレビの使用の割合に大きな影

響を与えている。以前に教育目的でテレビを使用したことのある大学は、そうした経験のない大学よりも、将来テレビを使用しようとする傾向が強い(61%に対して30%)。使用したことのない大学の中でも、私立4年制大学の使用経験が最も少なく、将来、教育の目的でテレビを使用する計画も最も少なかった。

教育目的以外でテレビを使用している大学(つまり、カウンセリング、情報提供などのためには使用するが、授業には使用しないもの)の中には、教育的な使用への過渡的な段階にあると考えられる大学もあった。1978-79年度に、教育以外の目的でテレビを使用していた大学は、過去に全くテレビを使用したことのない大学と比較して、以前に教育目的でテレビを使用していたものが多かったし、将来テレビの教育利用を計画しているというものが多かった。

## C. 結果

質問項目の単純集計は、付録Bに掲載してある。この章では、変数間の関係について検討を加える。大学の種類（つまり、短期大学、公立4年制大学、私立4年制大学）による相違、授業で利用している大学と補講で利用している大学と利用していない大学との相違、テレビ・コンソーシアムの会員大学と非会員大学との相違、テレビ番組を流す方法の相違による影響について分析することとする。

### 1 大学の種類による相異

調査対象となった大学は、高等教育の各協会のリストからとり出したものであり、重複がある場合には、NCE SのEducation Directory を参照した。個々の大学については、短期大学、公立4年制大学、私立4年制大学に区分した。

大学の種類によって、テレビ利用の割合や特徴が異なることが明らかになった。第2表は、公立4年制大学がテレビを最も多く使用し、私立4年制大学の使用が少ないことを示している。使用方法の中では、補講としてテレビを使用することが最も多いが、公立4年制大学と短期大学は、補講に使用するのと同じ割合で、テレビ授業を開講している。私立4年制大学はテレビで授業を開講する率は低いが、授業の補足としてテレビを使用する傾向がある。

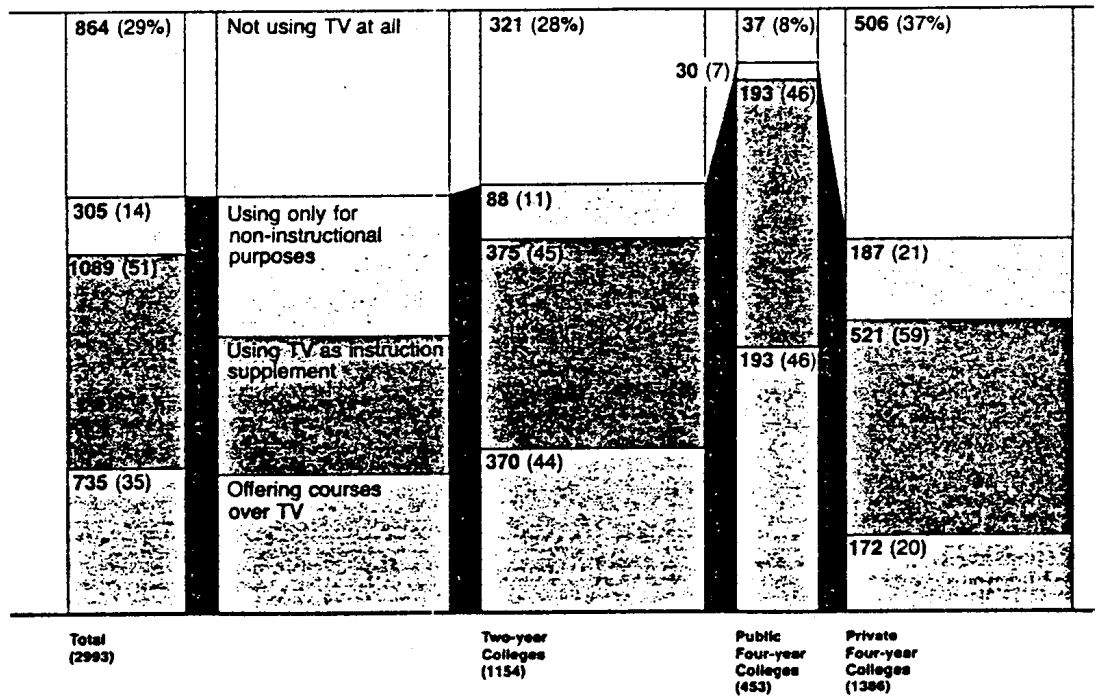
第2表

Table 2:  
Types of Uses of  
Television by  
Type of College,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

Use of TV	Type of College			
	Total (2993)	Two-year Colleges (1154)	Public Four-year Colleges (453)	Private Four-year Colleges (1386)
Not using TV at all	864 (29%)	321 (28%)	37 (8%)	506 (37%)
Making some use of TV	2129 (71)	833 (72)	416 (92)	880 (63)
<b>Type of Use</b>				
Using <i>only</i> for non-instructional purposes	305 (14)	88 (11)	30 (7)	187 (21)
Using TV as instructional supplement	1089 (51)	375 (45)	193 (46)	521 (59)
Offering courses over TV	735 (35)	370 (44)	193 (46)	172 (20)

第1图

Chart 1:  
Types of Uses  
of Television by  
Type of College,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)



第3表

Table 3:  
Specific Uses of  
Television by  
Type of College,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

Use of TV	Total (2993)	Type of College		
		Two-year Colleges (1154)	Public Four-year Colleges (453)	Private Four-year Colleges (1386)
Do not use television in any way	864 (29%)	321 (28%)	37 (8%)	506 (37%)
Making some use of TV	2129 (71)	833 (72)	416 (92)	880 (63)
<b>Specific Uses</b>				
On-campus instruction	1685 (79)*	664 (80)*	363 (87)*	658 (75)*
Off-campus instruction	719 (34)	377 (45)	195 (46)	147 (17)
Counseling	928 (44)	321 (39)	248 (60)	359 (41)
Outreach	802 (38)	338 (41)	241 (58)	223 (25)
Promotion/recruitment	868 (41)	418 (50)	209 (50)	241 (27)
Staff development	667 (31)	304 (36)	159 (38)	204 (23)
Other	447 (21)	118 (14)	116 (28)	213 (24)

\* Multiple responses were permitted, so column totals exceed 100 per cent.

6つのテレビ使用方法の中では、学内での授業に使用する割合が、3種類の大学に共通して最も高かった。それ以外については、第3表に示すように大学の種類によってばらつきがあった。短期大学では、カウンセリングよりも、学生募集のための宣伝の占める割合が高い。公立と私立4年制大学では反対の傾向が見られる。公立4年制大学では、最も多くは「情報提供」の目的（例：教育サービス、市民討論会、大学や市民社会についての情報を提供すること）でテレビを使用していた。

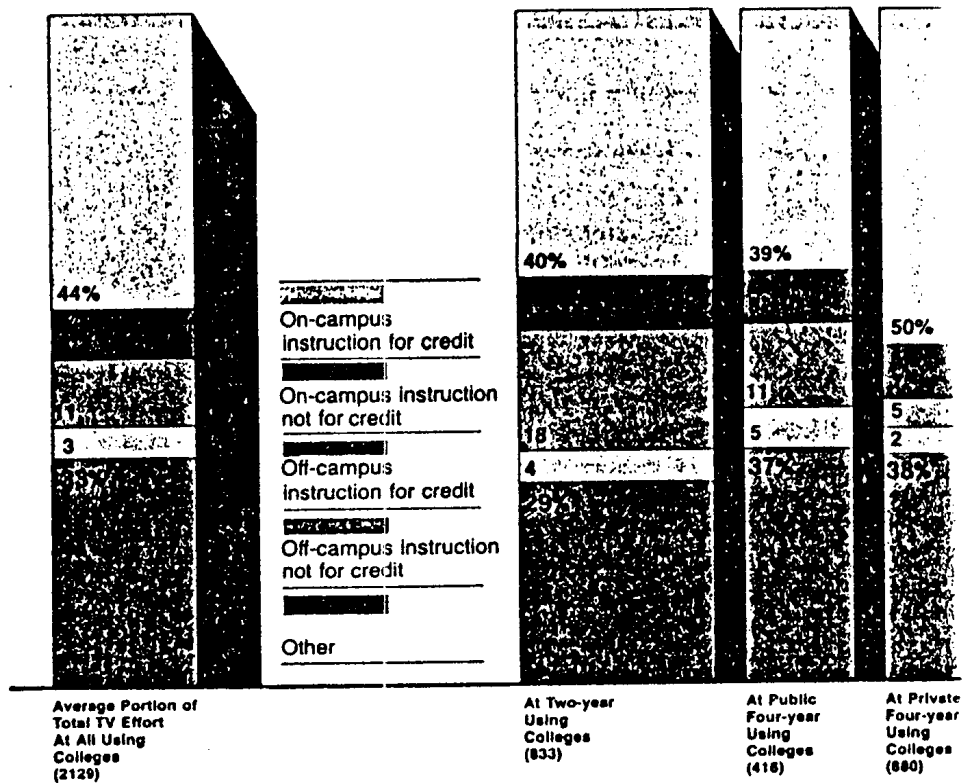
第4表

Table 4:  
Allocation of TV  
Effort by Type  
of College,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using  
Television)

Type of Use	Average Portion of Total TV Effort At All Using Colleges (2129)	At Two-year Using Colleges (833)	At Public Four-year Using Colleges (416)
On-campus instruction for credit	44%	40%	39%
On-campus instruction not for credit	8	8	8
Off-campus instruction for credit	11	18	11
Off-campus instruction not for credit	3	4	5
Counseling	7	5	7
Outreach	6	5	9
Promotion/recruitment	9	12	6
Other (incl. staff development)	11	7	13

第2图

Chart 2:  
Allocation of TV  
Effort by Type  
of College,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using  
Television)



大学の種類によってテレビの使用の割合に違いが見られるものがある。第表のとおり、短期大学は、単位取得を目的とした学外での授業（18%）と生募集の宣伝・広告（12%）において、4年制大学よりもテレビの使用割合が高い。他方、私立4年制大学では、テレビ使用の全体についていえば、単位取得を目的とする学内での授業（50%）が高い割合を示している。

また大学の種類による相違は、TV番組（1978-79年度）の送出方法とも係している（第5表）。私立4年制大学は地元の公共テレビ局を使用するものが少なく、短期大学は、地元の商業テレビ局を使用することが多い。私立4年制大学では、「その他」の方法で流すという回答が多く、特に、ビデオテープ、プレイバックユニット、ITFS、衛星システム、テレカンファレンスを挙げている。公立4年制大学は、短期大学や私立4年制大学よりもテレビ局と協力してきた歴史が短い。

第5表

Type of TV Outlet	Type of College			
	Total (1824)	Two-year Colleges (745)	Public Four-year Colleges (386)	Private Four-year Colleges (693)
Public TV Station	393 (22%)	191 (26%)	97 (25%)	105 (15%)
Commercial TV Station	126 (7)	73 (10)	21 (6)	32 (5)
Cable System	163 (9)	81 (11)	45 (12)	37 (5)
Campus Closed Circuit System	770 (42)	300 (40)	160 (41)	310 (45)
Other	372 (20)	100 (13)	63 (16)	209 (30)
Number of years working with that outlet:				
Mean	7	6	9	6
Median	5	5	7	5
Mode	5	5	5	2



大学の種別による最も重要な相違は、テレビによる開講授業数と、授業（コース）に登録している学生数である（授業に関する定義はしなかった。従って各大学によって定義に違いが生じている可能性がある）。公立4年制大学では、短期大学と私立4年制大学を合わせたものよりもっと多くの授業を開講しており、また多くの学生が登録している（第6表参照）。公立4年制大学は、1校あたりの平均登録数が1,355人で、テレビの開講授業数は15である。しかし、公立4年生大学においては、登録数の中央値が180人、授業数の中央値が4で、登録数の最頻値は200人、授業数の最頻値は1である。短期大学と私立4年制大学では、最頻値は20人で1つの授業である。（これらの結果から、「平均値」だけについて述べることは危険であることがわかる。例外的に多くの講座を開講し、登録数も多い、数少ない大学が平均値を上の方に押し上げているのである）。

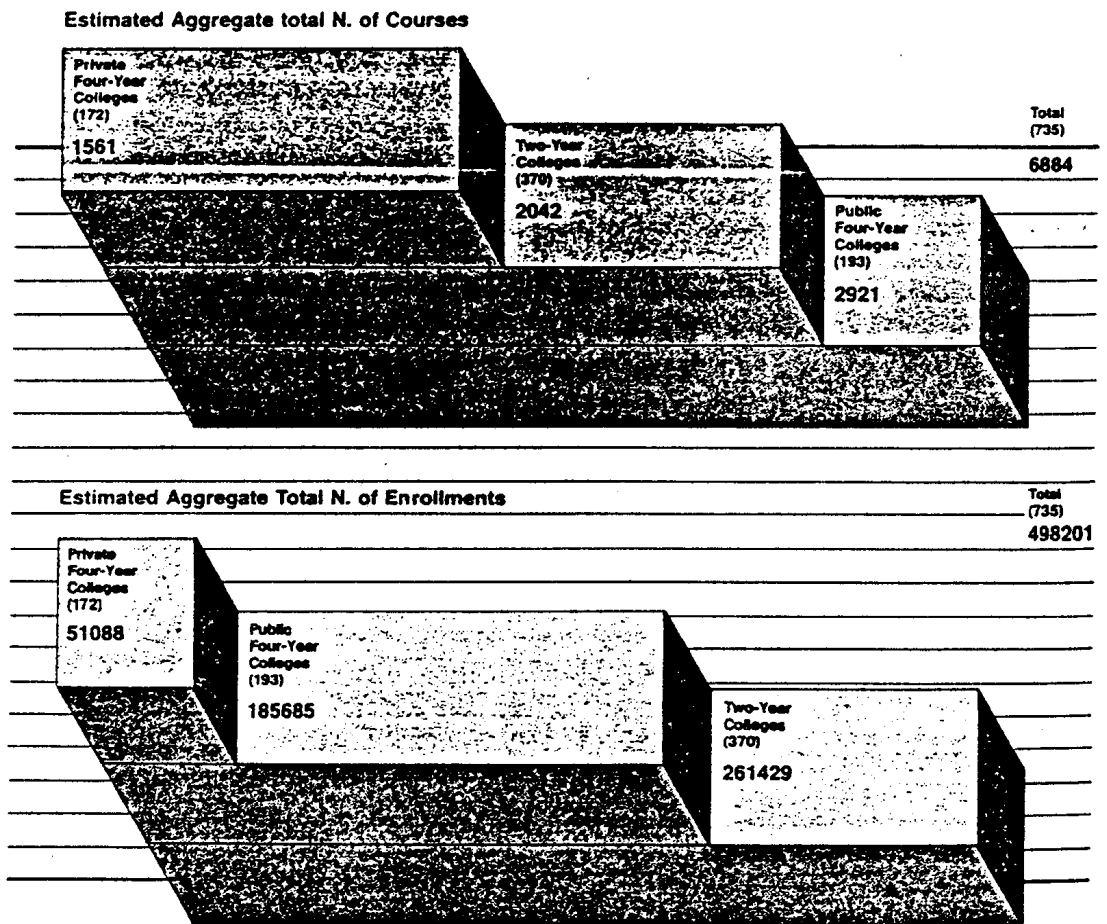
第6表

Table 6:  
Course Offerings  
and Enrollments  
by Type of  
College, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Offering Courses  
Over Television)

Colleges Courses/Enrollments	Total (735)	Two-year Colleges (370)	Type of College	
			Public Four-year Colleges (193)	Private Four-year Colleges (172)
Estimated Aggregate Total Number of Courses	6884	2402	2921	1561
Courses Reported Per College				
Mean	9	6	15	9
Median	4	5	4	2
Mode	1	1	1	1
Estimated Aggregate Total Number of Enrollments	498201	185684	261429	51088
Enrollments Reported Per College				
Mean	678	502	1355	297
Median	100	126	180	46
Mode	20	20	200	20

### 第3図

Chart 3:  
Course Offerings and Enrollments By Type of College, 1978-79 (Asked of Respondents Offering Courses Over Television)



大学がテレビ・コンソーシアムの会員であるか否かは、第7表のように、大学の種類別によって相違があった。短期大学の方が、公立・私立4年制大学よりもテレビ・コンソーシアムの会員である場合が多い。さらに分析の結果、テレビで授業を開講している短期大学に会員大学が最も多いことが明らかになった(62%)。公立・私立の4年制大学の場合には、テレビで授業を開講していること(補講的なテレビの使用に対して)と、テレビ・コンソーシアム会員であるかどうかの間には関係が見出せなかった。

1978-79年度にテレビの授業を使用していない大学のうち、私立4年制大

学が、テレビ利用経験が最も少なく、将来もテレビを教育に使用する計画もあまりしていない（第8表参照）。短期大学の方が公立・私立4年制大学よりも、テレビを教育に使用した経験をより多く持っていた。将来、テレビを教育に使用する計画を持っている短期大学の割合（42%）は、公立4年制大学の割合（44%）とほぼ同じである。

### 第7表

Table 7:  
Television Consortium Memberships by Type of College, 1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)

	Total (1324)	Type of College		
		Two-year Colleges (745)	Public Four-year Colleges (386)	Private Four-year Colleges (693)
Institution is a member of a consortium offering or producing televised courses	516 (28%)	300 (40%)	111 (29%)	105 (15%)

### 第8表

Table 8:  
Past and Future Uses of Television For Instruction by Type of College, 1978-79 (Asked of Respondents Not Using Television for Instruction)

	Total (1169)	Type of College		
		Two-year Colleges (409)	Public Four-year Colleges (67)	Private Four-year Colleges (693)
Have used television for instruction	228 (19%)	112 (27%)	13 (19%)	103 (15%)
Plan to use television for instruction	431 (37)	172 (42)	30 (44)	229 (33)

第9表

Table 9:  
Conditions  
Related to the  
Use of  
Television For  
Instruction by  
Type of College,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

	Total (2993)	Type of College		
		Two-Year Colleges (1154)	Public Four-Year Colleges (453)	Private Four-Year Colleges (1386)
This institution (is/is not) readily able to provide necessary support services (e.g., faculty contact, flexible registration procedures).				
Overall Importance	62%	64%	70%	57%
As a Contributor	22	29	30	13
As a Hindrance	40	35	40	44
Our faculty members (are/are not) sympathetic to the use of television for instruction.				
Overall Importance	60	62	72	54
As a Contributor	27	32	32	21
As a Hindrance	33	30	40	33
There (are/are not) courses available which meet the academic needs and standards of this institution.				
Overall Importance	54%	57%	51%	53%
As a Contributor	26	34	31	17
As a Hindrance	28	23	20	36
Desirable blocks of time (are/are not) available for airing instructional programs.				
Overall Importance	34	46	42	21
As a Contributor	15	21	24	6
As a Hindrance	19	25	18	15
Owners of the TV outlet(s) (are/are not) sympathetic to this institution's goals for television use.				
Overall Importance	30	40	42	17
As a Contributor	21	28	33	10
As a Hindrance	9	12	9	7
Program schedules (are/are not) confirmed and announced far enough in advance of air date.				
Overall Importance	28	37	36	17
As a Contributor	16	21	24	9
As a Hindrance	12	16	12	8
Print materials designed to accompany televised courses (are/are not) available.				
Overall Importance	25	34	31	15
As a Contributor	17	25	21	8
As a Hindrance	8	9	10	7
The TV outlet(s) (are/are not) consistent in the airing of tapes (e.g., programs aired in correct order, infrequent pre-emption).				
Overall Importance	20	27	28	9
As a Contributor	15	20	24	6
As a Hindrance	5	7	4	3
The TV outlet(s) (are/are not) consistent in handling tapes properly (e.g., mishandling, damage, and loss of tapes is rare).				
Overall Importance	19	25	26	10
As a Contributor	15	20	23	7
As a Hindrance	4	5	3	3

テレビの教育利用に関連する最も重要な条件は、大学側の援助、教官の関与、希望するコースの有無の3つである。第9表に示されているように、これらの条件に対する大学の回答には、ばらつきがみられる。私立4年制大学は、一貫して、テレビの教育利用を促進する要因をあまり選ばなかった。従って、私立4年制大学の回答については、短期大学と公立4年制大学の回答よりも促進する要因との関連が弱く、負の関係が現れやすくなっている。

## 2 利用形態における相異

この分析のために、利用形態として最も顕著なものを元にして、次の4つのカテゴリーつまり、授業にテレビを利用している大学、補講に利用している大学、教育以外に利用している大学、利用していない大学のいずれかに大学を分類した。調査項目の多くは、非利用大学と教育以外の利用大学には適応しないので、このセクションは (a) 回答者のうちのある大学しか含まないことになるし、また (b) 利用大学と非利用大学というように分類しなおす必要がある。

テレビの利用形態は、テレビをどのような目的で利用しているのかということと関係がある。第10表が示すように、テレビで授業を開講している大学では、単位を与える学内での教育 (37%) と学外での教育 (28%) のために利用しているのに対し、補講で使用している大学は、単位を与える学内での授業に利用しており (60%)、教育以外の利用大学は学生募集 (32%) と、教職員教育、コミュニティーへのサービス、学部間の情報、娯楽、産学共同といった「その他」の目的 (38%) のために利用している。

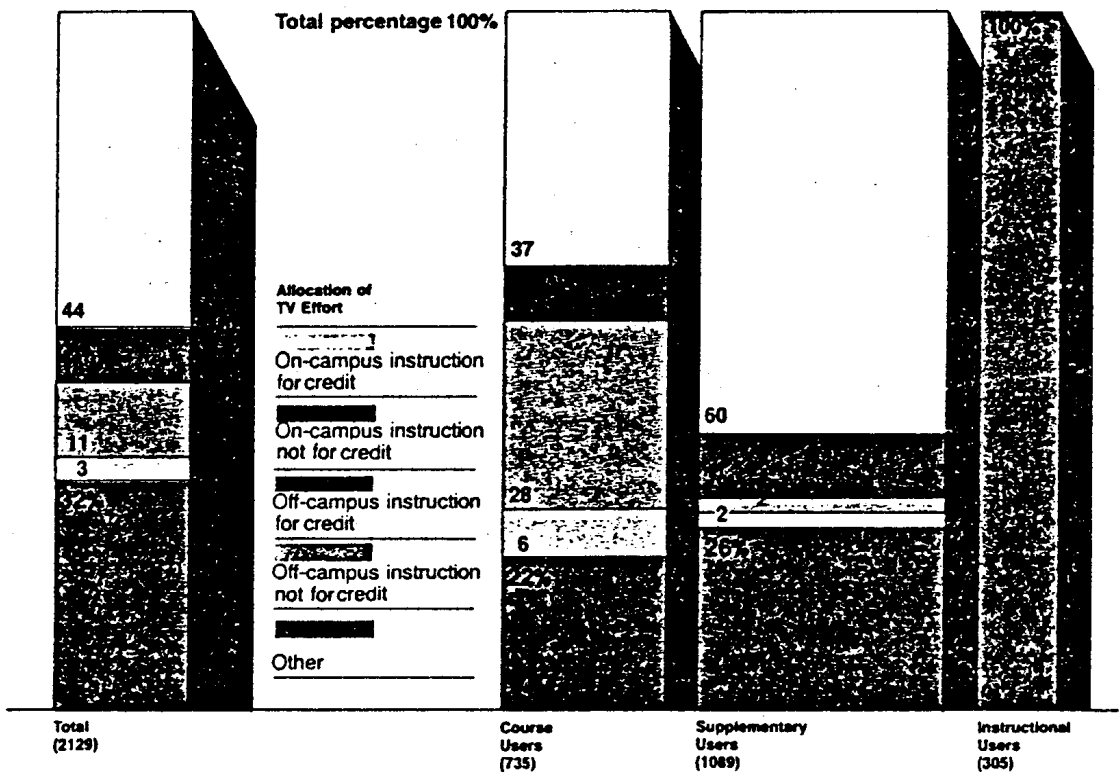
第10表

Table 10:  
Allocation of TV Effort by Type of Use, 1978-79  
(Asked of Respondents Using Television)

Allocation of TV Effort	Total (2129)	Course Users (735)	Type of Use	
			Supplementary Users (1089)	Non-instructional Users (305)
Total percentage	100%	100%	100%	100%
Percentage of total TV effort allocated to:				
On-campus instruction for credit	44	37	60	0
On-campus instruction not for credit	8	7	9	0
Off-campus instruction for credit	11	28	2	0
Off-campus instruction not for credit	3	6	2	0
Counseling	7	5	7	13
Outreach	6	5	5	16
Promotion/ Recruitment	9	6	6	32
Other	11	6	8	38

第4图

Chart 4:  
Allocation of TV Effort by Type of Use, 1978-79  
(Asked of Respondents Using Television)



授業と補講に利用している大学だけに、TV番組を流す方法について質問したところ、第11表が示すように、あきらかに補講で利用している大学は、授業に利用している大学よりも、学内の閉回路システムに依存する傾向が高く、授業に利用している大学は、地元の公共テレビ局に頼る傾向が高い。

大学がTV番組を流しているところとどれくらいの年数協力してきたかということと、利用形態との間には何らの関係もみいだせなかった。大学とTV番組を流す方法との関係の特性にはばらつきがあるが(第12表)、明らかな傾向というのは、授業に利用している大学は補講に利用している大学よりも、多くの項目にチェックしたということであった。

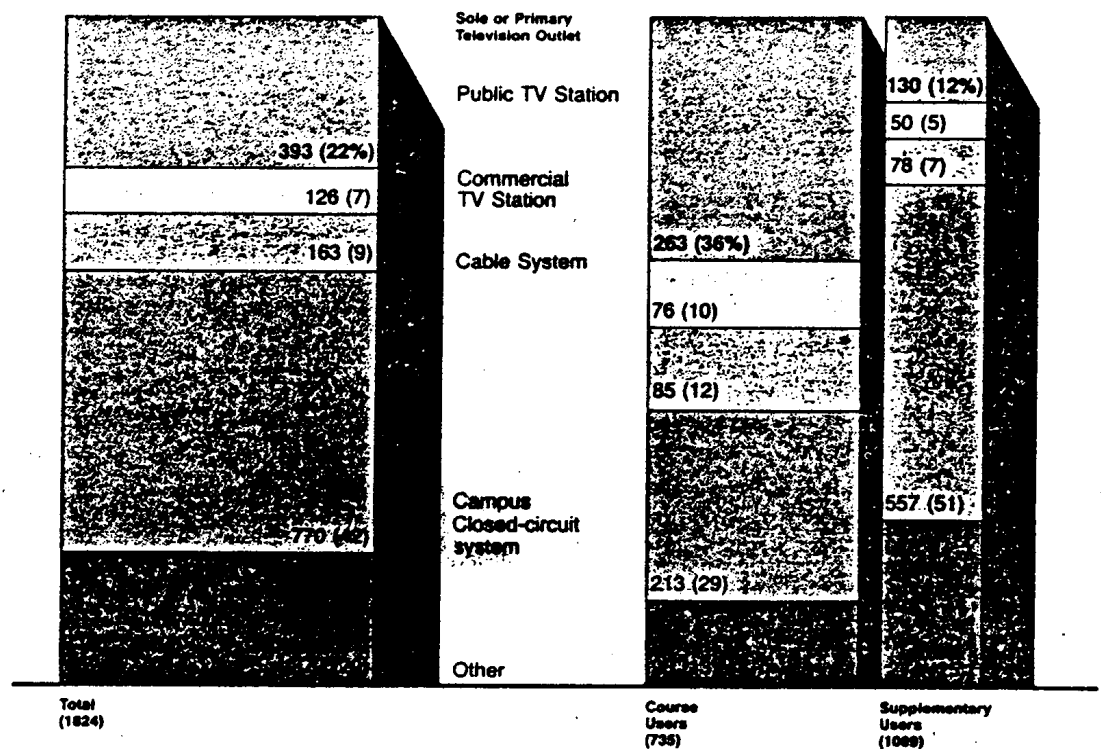
授業に利用している大学は、補講に利用している大学よりも、テレビ・コンソーシアムの会員が多い。テレビ・コンソーシアムの会員大学である率は、補講利用大学が13%なのに比較して、授業利用大学は48%であった(第13表参照)。

第11表

Sole or Primary Television Outlet by Type of Use, 1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)	Sole or Primary Television Outlet	Total (1824)	Type of Use	
			Course Users (735)	Supplementary Users (1089)
	Public TV Station	393 (22%)	263 (36%)	130 (12%)
	Commercial TV Station	126 (7)	76 (10)	50 (5)
	Cable System	163 (9)	85 (12)	78 (7)
	Campus Closed-circuit system	770 (42)	213 (29)	557 (51)
	Other	372 (20)	98 (13)	274 (25)

第5图

Chart 5:  
Sole or Primary  
Television  
Outlet by Type  
of Use, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Using Television  
for Instruction)



第12表

Table 12:  
Relationship  
With Television  
Outlet by Type  
of Use, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Using Television  
for Instruction)

\* Multiple responses were permitted, so column totals exceed 100 per cent.

Characteristics of Relationship	Type of Use		
	Total (1824)	Course Users (735)	Supplementary Users (1089)
College and outlet co-produce	358 (20%)*	206 (28%)*	152 (14%)*
College produces using outlet facilities	431 (24)	235 (32)	196 (18)
Outlet airs programs acquired by college	523 (29)	216 (43)	207 (19)
Outlet airs programs produced by college	566 (31)	294 (40)	272 (25)
Outlet acquires programs for college	289 (16)	191 (26)	98 (9)
Outlet selects programs, college offers credit	322 (18)	257 (35)	65 (6)
Outlet provides course promotion time	289 (16)	213 (29)	76 (7)
Outlet provides preview time and facilities	335 (18)	215 (29)	120 (11)
Outlet provides dubbing	307 (17)	175 (24)	131 (12)
Outlet provides support materials	244 (13)	137 (19)	107 (10)
Outlet provides other services	412 (23)	157 (21)	255 (23)



### 第13表

Table 13:  
Television Consortium Membership by Type of Use, 1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)

	Type of Use		
	Total (1824)	Course Users (735)	Supplementary Users (1089)
Institutions is a member of consortium offering or producing televised courses.	503 (28%)	356 (48%)	147 (13%)

### 第14表

Table 14:  
Past And Future Uses of Television for Instruction by Type of Use, 1978-79 (Asked of Respondents Not Using Television for Instruction)

	Type of Use		
	Total (1169)	Nonusers (864)	Non-instructional Users (305)
Have used television for instruction	228 (19%)	155 (18%)	73 (24%)
Plan to use television for instruction	431 (37)	297 (34)	134 (44)

1978-79年度、テレビを教育に利用しなかった大学の中で、教育以外にテレビを利用した大学は、過去にテレビを教育に利用した経験を持つ場合が多く、将来テレビを教育に利用しようと計画している場合も多い（第14表参照）。利用、非利用いずれの大学も、将来テレビを教育に利用する計画をしている大学の数は、過去にテレビを教育に利用した経験があると答えた大学の数と比較すると、約2倍になっている。

利用形態で分析した結果、テレビの教育利用の促進条件と抑制条件について興味深い相違が出てきた（第15表参照）。授業にテレビを利用している大学を除くと、大学側からの援助がないことが、すべての種類の大学に最大の障害と見なされている。また、それらの大学は、教官の賛同がないことも大

きな障害であるとしている。授業に利用している大学は、他の大学よりも各条件に対する反応が明瞭であった。例えば、授業に利用している大学の49%がコースの質が重要であるとしたが、補講で利用している大学では22%であり、教育以外の利用大学では11%であった。リストに含まれた他の条件に関しても、同じような傾向が示されている。

### 3 TV番組の送出方法における相異

TV番組の送出方法と利用形態との関係については既に述べた。しかし、第16表に見るとおり、TV番組の送出方法の選択もまたテレビの利用形態に影響を及ぼしている。公共・商業テレビ局と協力している大学では、テレビの使用の大部分を単位を与える学外の授業にあてている一方、ケーブル・システムや閉回路システムその他の（大学でコントロールした）システムで送出している大学は、学内での単位を与える教育にあてていた。商業テレビ局とケーブル・システムによる送出は、学生募集において最も大きな役割を果たしていた。

第15表

Table 15:  
Conditions  
Related to the  
Use of  
Television For  
Instruction by  
Type of Use,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

	Type of Use				
	Total (2993)	Non- users (864)	Course Users (735)	Supplemental Users (1089)	Non- instructional Users (305)
There (are/are not) courses available which meet the academic needs and standards of this institution.					
Overall Importance	54%	50%	69%	50%	37%
Contributor	26	12	49	22	11
Hindrance	28	38	20	28	26
Owners of the TV outlet(s) (are/are not) sympathetic to this institution's goals for television use.					
Overall Importance	30	16	51	26	20
Contributor	21	5	42	17	14
Hindrance	9	11	9	9	6
Our faculty members (are/are not) sympathetic to the use of television for instruction.					
Overall Importance	60	40	75	64	53
Contributor	27	11	41	30	17
Hindrance	33	29	34	34	36
Desirable blocks of time (are/are not) available for airing instructional programs.					
Overall Importance	34	21	54	30	25
Contributor	15	6	31	10	8
Hindrance	19	15	23	20	17
The TV outlet(s) (are/are not) consistent in handling tapes properly (e.g., mishandling, damage, and loss of tapes is rare).					
Overall Importance	19	7	34	17	10
Contributor	15	4	29	14	7
Hindrance	4	3	5	3	3
The TV outlet(s) (are/are not) consistent in the airing of tapes (e.g., programs aired in correct order, infrequent preemption).					
Overall Importance	20%	8%	38%	16%	10%
Contributor	15	3	31	12	7
Hindrance	5	5	7	4	3
Program schedules (are/are not) confirmed and announced far enough in advance of air date.					
Overall Importance	28	11	53	24	16
Contributor	16	3	34	14	9
Hindrance	12	8	19	10	7

Table 15:  
(Continued)  
Conditions  
Related to the  
Use of  
Television For  
Instruction by  
Type of Use,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

Print materials designed to accompany televised courses (are/are not) available.

Overall Importance	25 %	11%	48%	21%	16%
Contributor	17	5	40	11	8
Hindrance	8	6	8	10	8
This institution (is/is not) readily able to provide necessary support services (e.g., faculty contact, flexible registration procedures).					
Overall Importance	62	61	66	58	67
Contributor	22	10	44	16	13
Hindrance	40	51	22	42	54

### 第16表

Table 16:  
Allocation of TV  
Effort by Sole or  
Primary TV  
Outlet, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Using Television  
for Instruction)

Sole or Primary TV Outlet

Allocation of TV Effort	Total (1824)	Public TV Station (393)	Commercial TV Station (126)	Cable System (163)	Campus Closed- circuit System (770)	Other (372)
Total percentage	100%	100%	100%	100%	100%	100%
Percentage allocated to:						
On-campus instruc- tion for credit	43	29	18	32	57	51
On-campus instruc- tion not for credit	9	6	7	6	11	10
Off-campus instruc- tion for credit	17	34	32	16	6	12
Off-campus instruc- tion not for credit	4	7	6	7	3	3
Counseling	5	3	4	6	6	6
Outreach	6	6	7	14	4	3
Promotion/ recruitment	7	6	19	11	5	4
Other	8	10	6	8	7	11

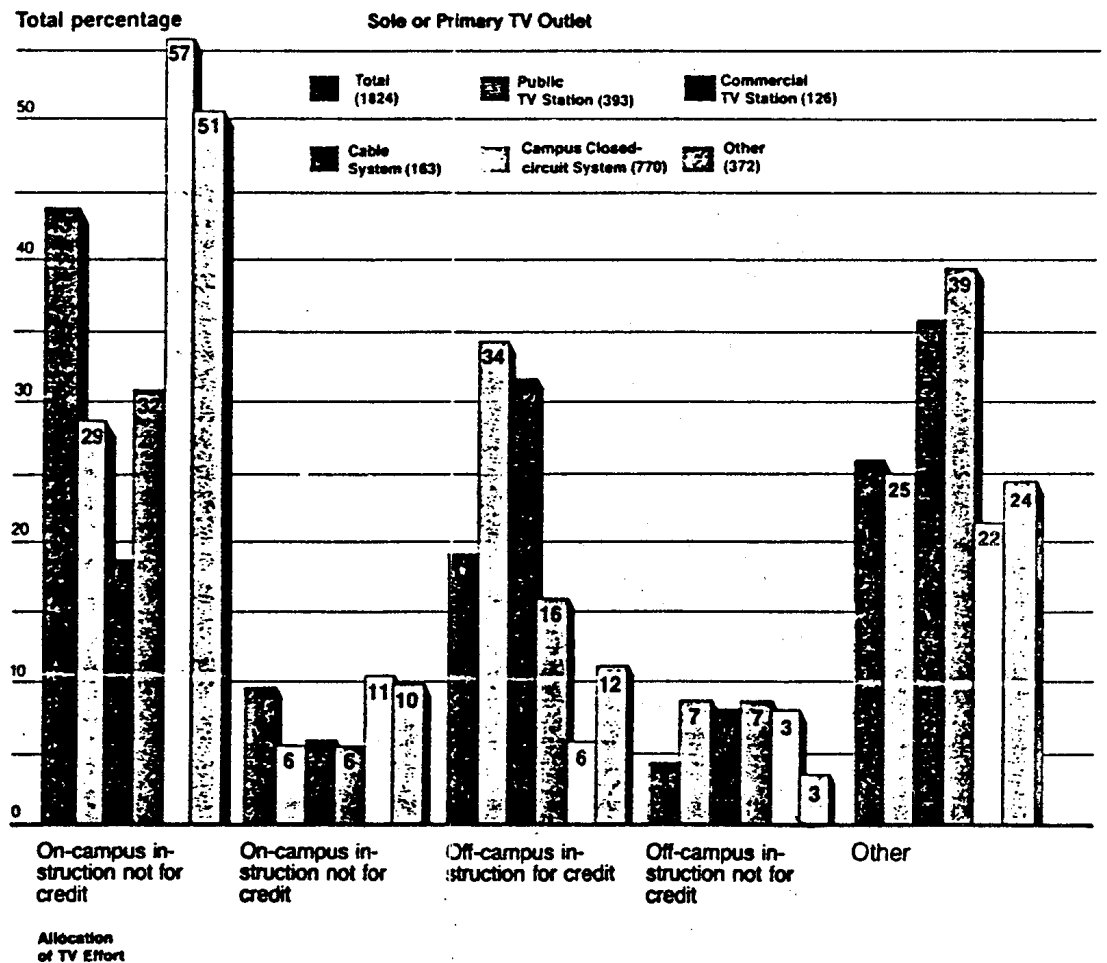
大学とTV番組を送出する方法との関係の特徴は、送出方法が何であるかによって変化する。第17表の示すとおり、主にケーブル・システムで送出している大学のほとんどが、大学独自のプロダクション部門を持っており、学内閉回路システムで送出している大学よりもそれを持っているところが多

い。一方、公共テレビ局は、その他の方法よりも、番組の選択や取得に対して積極的な役割を果たす傾向が強い。公共テレビ局はまた、他の方法以上に事前視聴の施設や時間を提供している。

本研究では、テレビで開講しているコースの種類を区別していないことに注意すべきである。大学とTV番組を流す方法の関係は、「人類の歴史」や「コスモス」のような教養番組的なコースと、「The Growing years」や「American Government」のようにテレビのために制作された大学コースでは相違が生じてくる。

第6図

Chart 6:  
Allocation of TV  
Effort by Sole or  
Primary TV  
Outlet, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Using Television  
for Instruction)



第17表

Table 17:  
Relationship  
With Television  
Outlet by Sole  
or Primary TV  
Outlet, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Using Television  
for Instruction)

\* Multiple responses permitted, so column totals exceed 100 per cent.

	Sole or Primary TV Outlet					
	Total (1824)	Public TV Station (393)	Commercial TV Station (126)	Cable System (163)	Campus Closed- circuit System (770)	Other (372)
a. College and outlet coproduce programs.	20%*	26%*	25%*	19%*	27%*	18%*
b. College produces programs using outlet facilities.	24	19	21	31	36	20
c. Outlet airs programs acquired by colleges.	34	40	40	48	40	23
d. Outlet airs programs produced by colleges.	34	25	32	55	47	30
e. Outlet acquires programs on behalf of college.	16	29	7	7	22	15
f. Outlet airs programs it selects and lets college offer them for credit.	18	51	21	11	11	18
g. Outlet provides promotion time for instructional programs.	16	33	32	29	14	5
h. Outlet provides college with preview facilities and time.	18	36	12	5	26	14
i. Outlet provides colleges with dubbing services.	17	30	17	5	28	13
j. Outlet provides colleges (or student directly) with support materials (e.g., study guides).	13	20	8	5	16	19
k. Outlet provides other services to college or students.	23	20	32	21	19	21

## 第18表

Table 18:  
Reported Course Offerings by Sole or Primary TV Outlet and Type of College, 1978-79 (Asked of Respondents Reporting TV Course Offerings)

Sole or Primary TV Outlet	Type of College			
	All Colleges (735)	Two-year Colleges (370)	Public Four-year Colleges (193)	Private Four-year Colleges (172)
All Outlets	6884 (100%)	2402 (100%)	2921 (100%)	1561 (100%)
Public TV Station	1496 (22)	872 (36)	493 (17)	99 (6)
Commercial TV Station	410 (6)	312 (13)	60 (2)	30 (2)
Cable System	421 (6)	293 (12)	96 (3)	22 (1)
Campus Closed-circuit System	3208 (47)	620 (26)	1892 (65)	692 (44)
Other	1349 (20)	305 (13)	380 (13)	718 (46)

Notes:

1. "All Colleges" includes only those which reported offering courses over television.

2. The number outside the parentheses is the number of courses reported; the number in-

side the parentheses is the percentage of all courses reported by a particular type of college.

## 第19表

Table 19:  
Reported TV Course Enrollments by Sole or Primary TV Outlet and Type of College, 1978-79 (Asked of Respondents Reporting TV Course Offerings)

Sole or Primary TV Outlet	Type of College			
	All Colleges (735)	Two-year Colleges (370)	Public Four-year Colleges (193)	Private Four-year Colleges (172)
All TV Outlets	498201 (100%)	185684 (100%)	261429 (100%)	51088 (100%)
Public TV Station	154243 (31)	119739 (64)	33480 (13)	2738 (5)
Commercial TV Station	37265 (7)	27338 (15)	7425 (3)	2728 (5)
Cable System	21672 (4)	11495 (6)	9621 (4)	475 (1)
Campus Closed-circuit System	257919 (52)	18255 (10)	198462 (76)	38649 (76)
Other	27102 (5)	8857 (5)	12441 (5)	6489 (12)

Notes:

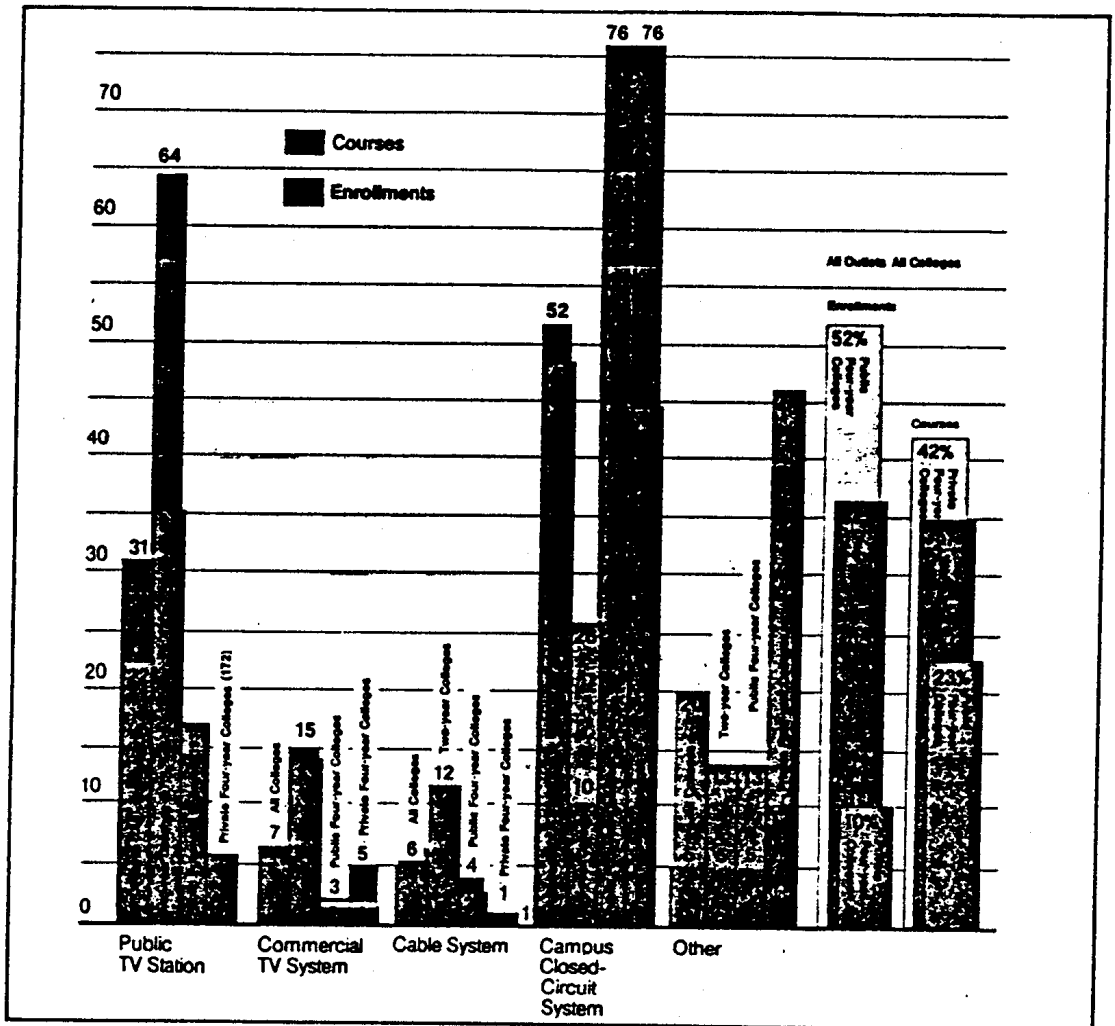
1. "All Colleges" includes only those that reported offering courses over television.

2. The number outside the parentheses is the number of TV course enrollments reported; the number inside the paren-

theses is the percentage of all enrollments reported by a particular type of college.

第7図

Chart 7  
Reported  
Course  
Offerings by  
Sole or Primary  
TV Outlet and  
Type of College,  
1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Reporting TV  
Course  
Offerings)



TV番組を送出する手段と、開講している授業数及び登録学生数の関係は、大学の種類によって異なっている。第18表が示すように公立4年制大学の全テレビ授業の85%は、主に閉回路システムで送出ししている大学で開講されていた。これらの授業への登録学生数は、公立4年制大学が報告した全テレビ授業への登録数の76%にあたる（第19表）。一方、短期大学で開講している授業の36%は、主に公共テレビで放送している大学で開講されていた。これらのコースへの登録学生数は、短期大学が報告した全テレビ授業への登録数の64%にあたる。私立大学では、多くのコースが「その他」の方法で送られており、閉回路システムが登録数のほとんど全部を占めている。第18



表と第19表は、大学の種類によってTV番組の送出方法が異なっていることを示している。

テレビ・コンソーシアムの会員であるかないかは、TV番組の送出方法の選択に関係している。公共・商業テレビ局を主に使用している大学は、ケーブル・システムや閉回路システムを使用している大学よりも、テレビ・コンソーシアムの会員である傾向が強いのである（第20表）。

第20表

Table 20:  
Television Consortium Membership by Sole or Primary TV Outlet, 1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)

	Total (1824)	Sole or Primary TV Outlet				
		Public TV Station (393)	Commercial TV Station (126)	Cable System (163)	Circuit System (770)	Other (372)
Institution is a member of a consortium offering or producing televised courses.	514 (28%)	191 (49%)	66 (52%)	52 (32%)	136 (18%)	70 (19%)

TV番組の送出方法は、テレビの教育利用を促進する要因の選択に関連している（第21表参照）。商業テレビ局に頼っている大学では、他の方法を使用している大学よりもテレビの教育利用に満足しているように見える。唯一の例外は、コースを放映する時間帯に関する事柄で、地元の商業テレビで放送している大学は、主な障害としてしばしば放送時間を挙げている。他の主な相異点は、公共・商業テレビ局を使用する大学が促進要因として（同時に、公共テレビ局の場合には抑制要因として）放映時間が早く確認できることを挙げている。学内のCCTVシステムを使用する大学では、障害としてそのシステムを管理・維持する能力の欠如を挙げている。

第21表

Table 21:  
Conditions  
Related to the  
Use of  
Television For  
Instruction by  
Sole or Primary  
TV Outlet,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

	Sole or Primary TV Outlet					
	Total (1824)	Public TV Station (393)	Commercial TV Station (126)	Cable System (163)	Campus Closed- circuit System (770)	Other (372)
There (are/are not) courses available which meet the academic needs and standards of this institution.						
Overall Importance	61%	70%	79%	60%	54%	56%
Contributor	40	49	60	45	33	25
Hindrance	21	21	19	15	21	31
Owners of the TV outlet(s) (are/are not) sympathetic to this institution's goals for television use.						
Overall Importance	46	54	60	64	37	32
Contributor	36	43	50	58	27	21
Hindrance	10	11	10	6	10	11
Our faculty members (are/are not) sympathetic to the use of television for instruction.						
Overall Importance	72%	68%	68%	79%	74%	72%
Contributor	38	34	44	45	37	38
Hindrance	34	34	24	34	37	34
Desirable blocks of time (are/are not) available for airing instructional programs.						
Overall Importance	50	61	64	60	42	34
Contributor	26	33	23	39	21	17
Hindrance	24	28	41	21	21	17
The TV outlet(s) (are/are not) consistent in handling tapes properly (e.g., mishandling, damage, and loss of tapes is rare).						
Overall Importance	31	37	46	40	27	18
Contributor	27	33	37	36	23	14
Hindrance	4	4	9	4	4	4
The TV outlet(s) (are/are not) consistent in the airing of tapes (e.g., programs aired in correct order, infrequent preemption).						
Overall Importance	33	44	50	41	23	22
Contributor	26	35	41	34	18	17
Hindrance	7	9	9	7	5	5
Program schedules (are/are not) confirmed and announced far enough in advance of air date.						
Overall Importance	44	61	59	47	32	31
Contributor	28	38	43	28	20	20
Hindrance	16	23	16	19	12	11

Table 21: (Continued)		Print materials designed to accompany televised courses (are/are not) available.					
Conditions Related to the Use of Television For Instruction by Sole or Primary TV Outlet	Overall Importance	39	50	53	42	32	30
	Contributor	29	40	43	28	22	21
	Hindrance	10	10	10	14	10	9
1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)	This institution (is/is not) readily able to provide necessary support services (e.g., faculty contact, flexible registration procedures).						
	Overall Importance	66	62	70	75	62	75
	Contributor	34	39	49	43	27	29
	Hindrance	32	23	21	32	35	46

#### 4 テレビ・コンソーシアムの会員大学と非会員大学における相違

大学がテレビ・コンソーシアムの会員であるかないかの要因は、特別なテレビ利用方法、大学教育全体におけるテレビの比重、テレビで開講している授業数、テレビ授業への登録学生数、テレビの教育利用を促進または抑制する要因の認識などに関係していた。

第22表が示すとおり、コンソーシアムの会員大学は、学外での教育や学生募集にテレビを使用し、会員でない大学は、学内での教育にテレビを使用する傾向がある。同様のことが、テレビの利用目的についても言える（第23表）。テレビ・コンソーシアムの会員大学は、テレビ番組を学外での教育に単位を与える目的で使用しているが、会員でない大学は学内で単位を与える教育のために使用する傾向がある。

多分、テレビ・コンソーシアムの会員であるかないかが、最も大きな相異を生み出しているのは、テレビで開講している授業数と登録学生数である（第24表参照）。テレビ・コンソーシアムの会員大学は会員でない大学よりも50%も多くのコースをテレビで開講し、それらのコースに140%も多くの学生が登録している。

大学とTV番組の送出方法との関係は、コンソーシアムの会員と非会員の間に異なっている（第25表参照）。コンソーシアムの会員大学は、会員でない大学よりも多くの項目にチェックしている。

第22表

Table 22:  
Types of  
Television Uses  
by Consortium  
Membership,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

Types of TV Uses	Total (1824)	Consortium Members (514)	Non- members (1310)
On-campus instruction	92%*	83%*	95%*
Off-campus instruction	41	66	31
Counseling	46	45	47
Outreach	39	45	37
Promotion/recruitment	41	47	38
Staff development	33	37	32
Other	18	16	19

\* Multiple responses were permitted, so column totals exceed 100 per cent.

第23表

Table 23:  
Allocation of TV  
Effort by  
Consortium  
Membership,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

Allocation of TV Effort	Total (1824)	Consortium Members (514)	Non- members (1310)
Total percentage	100%	100%	100%
Percentage of total TV effort allocated to:			
On-campus instruction for credit	50	38	55
On-campus instruction not for credit	8	1	9
Off-campus instruction for credit	14	29	8
Off-campus instruction not for credit	4	5	3
Counseling	6	4	6
Outreach	5	5	5
Promotion/recruitment	6	5	6
Other	7	6	8

### 第24表

Table 24:  
Course Offerings  
and Enrollments  
by Consortium  
Membership,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

	Total (1824)	Consortium Members (514)	Non- members (1310)
Average number of courses per college offered over television.	9	12	8
Average enrollments per college in courses over television.	834	1200	500

### 第25表

Table 25:  
Relationship  
With Television  
Outlet by  
Consortium  
Membership,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

Characteristics of Relationship	Total (1824)	Consortium Members (514)	Non- members (1310)
College and Outlet coproduce	20%*	24%*	19%*
College produces using outlet facilities	24	29	24
Outlet airs programs acquired by college	29	48	24
Outlet airs programs produced by college	31	38	30
Outlet acquires programs for college	16	29	13
Outlet selects programs, college offers credit	18	33	14
Outlet provides course promotion time	16	30	12
Outlet provides preview time and facilities	18	32	15
Outlet provides dubbing	17	25	15
Outlet provides support materials	13	19	13
Outlet provides other services	23	23	24

\* Multiple responses were permitted, so column totals exceed 100 per cent.

下記の部分が特に異なるところで、コンソーシアムの会員大学は、会員でない大学よりも、多くチェックした項目である。

- ・放送局が、大学が獲得した番組を放送する。
- ・大学に代わって、放送局が番組を取得する。
- ・放送局が番組を選択し、大学が単位を与える。
- ・放送局がコースの宣伝の時間を提供する。

・放送局が事前視聴の時間や施設を与えてくれる。

テレビ・コンソーシアムの会員大学と送出機関との関係が緊密であることがこれらの項目からうかがえる。

第26表が示すとおり、テレビの教育利用に関連する各条件の重要性についての認識が、コンソーシアムの会員大学と会員でない大学との間で異なっている。コンソーシアムの会員大学にとっては、テレビの教育利用を促すものは、コースが学問的ニーズと大学の水準にあっているということである。これは、大学側の強い援助、放送局の経営者との協力、印刷物の存在、教官の関与などのような付加的な条件と複雑に絡みあっている。コンソーシアムの会員でない大学からの回答は、あまり目立たないし、肯定的でもない。会員でない大学における2つの最も肯定的な要因は、教官の関与と、適切なTVコースの存在であった。

第26表

Table 26: Conditions Related to the Use of Television For Instruction by Consortium Membership, 1978-79 (Asked of All Respondents Using Television for Instruction)		Total (1824)	Consortium Members (514)	Non- members (1310)
	This institution (is/is not) readily able to provide necessary support services (e.g., faculty contact, flexible registration procedures).			
	Overall Importance	63%	70%	60%
	As a Contributor	29	45	22
	As a Hindrance	34	25	38
	Our faculty members (are/are not) sympathetic to the use of television for instruction.			
	Overall Importance	70	75	67
	As a Contributor	36	40	34
	As a Hindrance	34	35	33

Table 26:  
 (Continued)  
 Conditions  
 Related to the  
 Use of  
 Television For  
 Instruction by  
 Consortium  
 Membership,  
 1978-79 (Asked  
 of All  
 Respondents  
 Using Television  
 for Instruction)

There (are/are not) courses available which meet the academic needs and standards of this institution.

Overall Importance	59	73	54
As a Contributor	35	52	28
As a Hindrance	24	21	26

Desirable blocks of time (are/are not) available for airing instructional programs.

Overall Importance	42%	55%	34%
As a Contributor	20	30	14
As a Hindrance	22	25	20

Owners of the TV outlet(s) (are/are not) sympathetic to this institution's goals for television use.

Overall Importance	38	54	32
As a Contributor	29	44	23
As a Hindrance	9	10	9

Program schedules (are/are not) confirmed and announced far enough in advance of air date.

Overall Importance	38	60	29
As a Contributor	23	36	18
As a Hindrance	15	24	11

Print materials designed to accompany televised courses (are/are not) available.

Overall Importance	34	53	26
As a Contributor	25	43	17
As a Hindrance	9	10	9

The TV outlet(s) (are/are not) consistent in the airing of tapes (e.g., programs aired in correct order, infrequent preemption).

Overall Importance	26	43	19
As a Contributor	21	35	15
As a Hindrance	5	8	4

The TV outlet(s) (are/are not) consistent in handling tapes properly (e.g., mishandling, damage, and loss of tapes is rare).

Overall Importance	25	40	19
As a Contributor	21	34	16
As a Hindrance	4	6	3

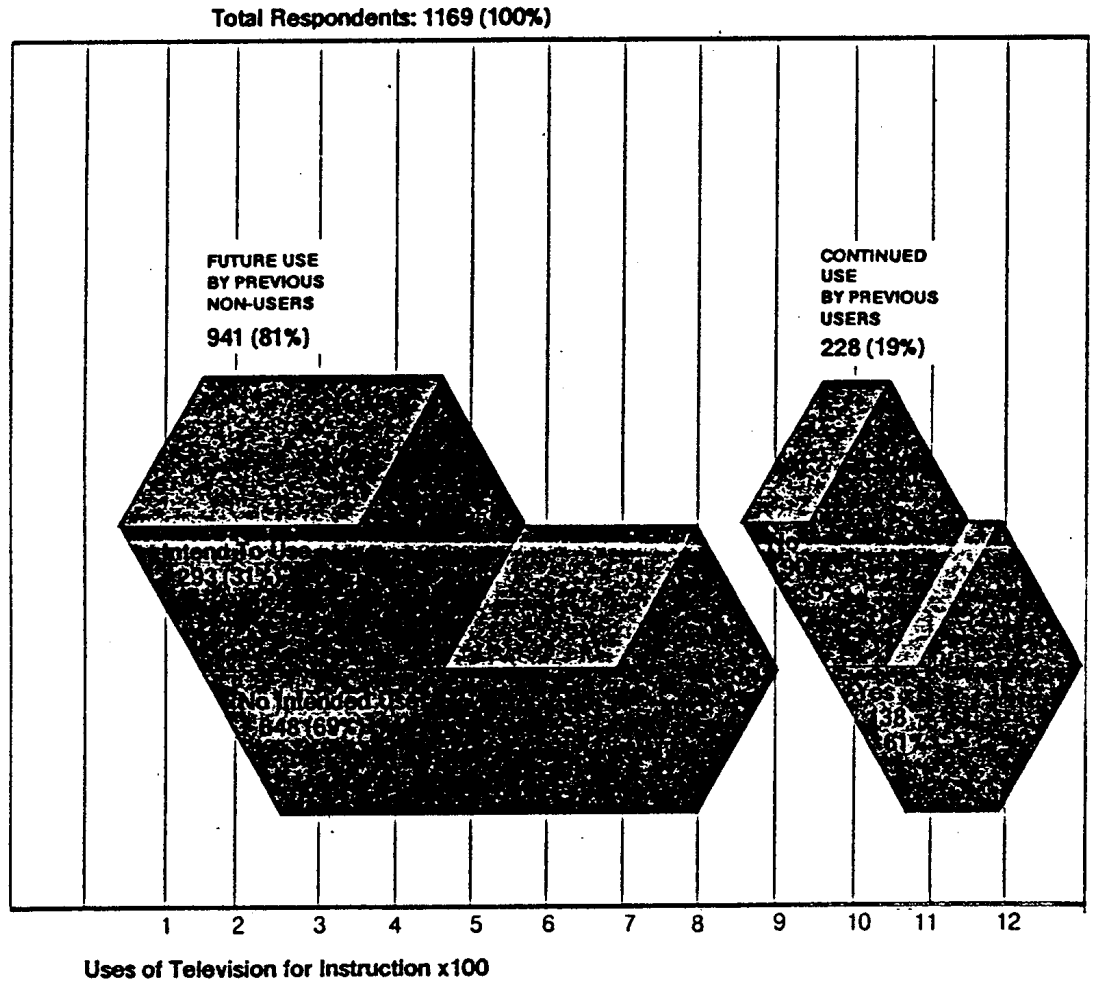
第27表

Table 27:  
Past Uses of  
Television for  
Instruction By  
Future Uses,  
1978-79

Past Uses	Total	Future Plans	
		Yes	No
Yes	228	138 (61%)	90 (39%)
No	941	293 (31)	648 (69)
Total	1169	431	738

第8図

Chart 8:  
Past Uses of  
Television for  
Instruction by  
Future Uses,  
1978-79





抑制要因については、コンソーシアムの会員大学と会員でない大学の答えはおおむね一致していた。いずれの大学も、抑制要因の上位に挙げたのは、教官の関与の欠如と、大学が必要な援助を提供しないことであった。またいずれの大学もそのリストの上位に、大学の水準にあったテレコースがないこと及び、希望時間帯に放映時間がわりあてられていないことを挙げている。コンソーシアムの会員大学は番組スケジュールを事前に知らせること及び放映日まで充分日時を取れないことが、テレビの教育利用を抑制していると感じている。

第28表

Table 28:  
Conditions  
Related to the  
Use of  
Television For  
Instruction by  
Past and Future  
Uses, 1978-79  
(Asked for All  
Respondents Not  
Using Television  
for Instruction)

	Past Instructional Uses		Total (1169)	Future Plans for Instructional Uses	
	Yes (228)	No (941)		Yes (431)	No (738)
This institution (is/is not) readily able to provide necessary support services (e.g., faculty registration procedures).					
Overall Importance	63%	63%	63%	68%	60%
As a Contributor	13	9	10	14	7
As a Hindrance	50	54	53	54	53
Our faculty members (are/are not) sympathetic to the use of television for instruction.					
Overall Importance	54	40	43	47	41
As a Contributor	21	9	12	19	7
As a Hindrance	33	31	31	28	34
There (are/are not) courses available which meet the academic needs and standards of this institution.					
Overall Importance	52	46	49	46	49
As a Contributor	23	9	13	18	9
As a Hindrance	29	37	36	28	40
Print materials designed to accompany televised courses (are/are not) available.					
Overall Importance	22	9	11	20	6
As a Contributor	13	3	5	9	3
As a Hindrance	9	6	6	11	3

Owners of the TV outlet(s) (are/are not) sympathetic to this institution's goals for television use.

Overall Importance	32%	12%	17%	26%	10%
As a Contributor	15	4	7	13	2
As a Hindrance	17	8	10	13	8

Program schedules (are/are not) confirmed and announced far enough in advance of air date.

Overall Importance	18	8	11	20	6
As a Contributor	10	3	4	7	2
As a Hindrance	17	5	7	13	4

The TV outlet(s) (are/are not) consistent in the airing of tapes (e.g., programs aired in correct order, infrequent preemption).

Overall Importance	18	6	8	13	4
As a Contributor	9	3	4	8	1
As a Hindrance	9	3	4	5	3

The TV outlet(s) (are/are not) consistent in handling tapes properly (e.g., mishandling, damage, and loss of tapes is rare).

Overall Importance	18	5	8	12	4
As a Contributor	11	3	5	8	2
As a Hindrance	7	2	3	4	2

Desirable blocks of time (are/are not) available for airing instructional programs.

Overall Importance	36	19	23	29	19
As a Contributor	14	4	6	10	4
As a Hindrance	22	15	17	19	15

## 5 過去の使用と将来の使用における相異

1978-79年度に教育の目的でテレビを使用しなかった大学が1,169校あり、それらの大学に、かつてテレビを教育に利用したことがあるかどうか、また今後利用を計画しているかどうかを質問した。20%(228)は以前にテレビを教育に利用した経験があり、37%(431)は利用の計画があることと回答している。第27表は、かつてテレビを教育に利用した228大学の内、61%の

大学が利用する計画を持っていることを示している。941の大学は、過去にテレビを教育に利用した経験が全くないが、その内の31%は現在利用を計画中である。

かつてテレビを教育に利用した経験のある大学は、テレビの教育利用に影響を与える要因をより肯定的にみなす傾向がある。第28表から、次の点をよみとることができる。(a)使用した経験のある大学は未経験の大学よりテレビの教育利用を促進する要因についてはっきりした意見をもっている。

(b)かつて利用した経験のある大学は、テレビの教育利用を促進する要因により多くチェックしている。(c)いずれの大学も、主な障害は大学の援助の欠如であるとしている。(d)いずれの大学も、その他の主な障害としては適切なテレコースの欠如及び教官の関心の欠如をあげている。

1978-79年度はテレビを教育に利用しなかったが、過去に利用経験のある大学は、その期間(1978-79年度)テレビを全く使用しなかった大学と、学生募集やカウンセリングのような教育以外の目的で使用した大学に分けられる。それぞれの大学の回答の50%以上が、テレビの教育利用に対する主な障害として、必要な援助を大学が与えないことを挙げている。この期間中全く利用しなかった大学の33%と、教育以外に利用した大学の16%が、適切なコースのないことを障害として挙げている。

第29表は、教育以外にテレビを利用している大学で、かつてテレビを教育に利用した経験があるか、あるいは将来テレビを教育に使用する計画を持っている大学の現在のテレビの利用方法を示している。この表によると、学生募集と「その他」の使用が、1978-79年度には最も大きな割合を占めていことがわかる。ただし、テレビをカウンセリングに使用した大学は、過去にテレビを教育に利用した経験があり、教育利用を計画しているところが多い。

教育以外にテレビを使用することは、過渡的な使用段階とみなすことができる。1978-79年度に教育以外にテレビを使用した大学は、全くテレビを使用していない大学（第14表にみられるように）よりも、過去にテレビを教育に利用した経験があり、将来利用する計画をしていることが多い。また、教育以外のある種のテレビ利用（例えば学務サービスや研究）は、テレビを教育に利用していない期間でも継続する可能性が認められる。

第29表

Table 29:

Current Allocation of TV Effort by Past and Planned Future Uses of Television for Instruction, 1978-79 (Asked of Respondents Making Only Non-Instructional Uses of Television)

		Percentage of Current TV Effort Allocated to:			
		Counseling	Promotion/ Outreach	recruitment	Other
Previous instructional uses of television:					
Yes		21 %	18 %	31 %	30 %
No		14	19	38	29
Total		16	19	36	29
Planned future instructional uses of television:					
Yes		16	21	37	25
No		16	15	37	32
Total		16	18	37	29

## HEUS 調査項目

この質問項目に回答される方の名前

名前

職名

住所

電話

1. あなたの大学がテレビを利用している仕方についてお答えください（適合するものについてはすべて○をつけてください）。

a. まったくテレビを利用していない

b. 学内の授業（要するに学生が大学に来て受講する授業）

c. 学外の授業（要するに学生が自分の過程や仕事場で学習するコース）

d. カウセリング（例えば、ロール・プレイング、鏡映的自己）

e. 奉仕活動（例えば、社会教育、地域フォーラム、地域に大学に関する情報等を提供する）

f. 広報活動（要するに大学入学希望者に大学のことを知らせる）

g. 職員研修

h. その他（特に） \_\_\_\_\_

（もし、" a " をチェックしたならば、質問項目9に進んでください。）

2. 下記のテレビの使用方法が、あなたの大学のテレビの全使用の何パーセントを占めているか記入してください（パーセントの合計が100%になるようにしてください）。

- a. 単位を取れる学内の授業
- b. 単位の取れない学内の授業
- c. 単位を取れる学外の授業
- d. 単位の取れない学外の授業
- e. カウンセリング
- f. 奉仕活動
- g. 広報活動
- h. その他 (特に) \_\_\_\_\_

3. あなたの大学ではどのテレビ放送システムを利用して放送していますか(適合するものにはすべて○をつけてください)。

- a. 公共放送局
- b. 商業放送局 (局の名前) \_\_\_\_\_
- c. 有線放送システム (名前) \_\_\_\_\_
- d. 学内の閉回路システム
- e. その他 (特に) \_\_\_\_\_

4. 質問項目3で複雑の放送システムを利用されていると回答されたならば、どんなシステムを最も利用しているか教えてください(ひとつだけ○をつけてください)。

- a. 公共放送局
- b. 商業放送局
- c. 有線放送システム
- d. 学内の閉回路システム

e. その他 (特に) \_\_\_\_\_

5. テレビを利用し始めてから何年になりますか。

\_\_\_\_\_年

6. あなたの大学と放送局との関係についてお答え下さい(適合するものにはすべて○をつけてください)。

- a. 大学と放送局の番組を共同して制作する。
- b. 大学が放送局の施設を利用して番組を制作する。
- c. 放送局が大学の購入した番組を放送する。
- d. 放送局が大学の制作した番組を放送する。
- e. 放送局が大学と共同して番組を購入する。
- f. 放送局が番組を放送し、大学が単位を与える。
- g. 放送局は番組のためのプロモーションの時間を提供してくれる。
- h. 放送局は試聴のための施設や時間を提供してくれる。
- i. 放送局はダビングのサービスをしてくれる j. 放送局は大学 (または、学生) に対して補助教材 (例えば、スタディ・ガイド) を提供してくれる。
- k. 放送局は大学や学生に対して他のサービスをしてくれる (特に) \_\_\_\_\_

7. (単位を取れる取れないに係わらず) 最近テレビを利用してコースを出したことについて答えて下さい(適合するものにすべて○をつけてください)。

a. 1983年度に、あなたの大学で出したコースの数は幾つですか。

- b. これらのコースに登録した学生数は何人ですか
- c. 放送局は放送時間を無料で提供しましたか。
- d. 放送時間の費用は、1時間いくらでしたか。
- e. 番組制作のための施設の使用料は、1時間いくらでしたか。

8. あなたの大学がテレコースのコンソーシアムに参加していたら、そのコンソーシアムの名前を書いてください。

9. もしあなたの大学で現在授業のためにテレビを利用していないならば、以前に利用したことがありますか。

10. もしあなたの大学で現在授業のためにテレビを利用していないならば、今後利用する計画はありますか。

11. あなたの大学にとって、授業のためにテレビを利用することを促進したり抑制する要因を下記の中から選んでください（最も重要だと思われる要因だけを選んでください。複数でもかまいませんが、一つの項目については、どちらか一方だけにしてください）。

- a. 大学のニーズや学術的基準に合ったコース（である／がない）
- b. 放送局が大学の目標を理解（してくれる／してくれない）
- c. 大学の教官が授業のためにテレビを利用することに理解が（ある／な



い)

- e. 放送局がテープを適切に扱って (くれる／くれない)
- f. 放送局のテープの放映方針が一貫 (している／していない)
- g. 番組の予定が充分余裕をもって知らせて (くれる／くれない)
- h. テレビ番組と即応した印刷教材が提供 (されている／されていない)
- i. 大学が必要な援助を (してくれる／してくれない)

御協力に感謝します。この研究に関して参考になる点がございましたら、別紙にお書きください。

#### 付録B：調査票の質問項目に対する回答

ここでは、質問順で回答の集計を紹介する。生のデータは、2993校の大学について集計されている。

##### 1. テレビの利用形態と割合

質問1では、テレビをどのように使用しているかを質問した (第B1表参照)。

質問2では、テレビをどのような用途に使用しているかを質問した (第B2表参照)。

この調査では、1978-79年度に、アメリカ国内で71%の大学がテレビを使用していたことがわかった。利用方用の中で最も多いものは、単位取得を目的とする学内での教育である。大学のテレビ利用の約2分の1はこのような利用である。学内での利用は、全体の4分の1弱である。

## 第B1表

Table B.1:  
Types of Uses of  
Television,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

\* Multiple responses  
were permitted, so  
column totals exceed  
100 per cent.

		Number (2993)	Per cent*
1.	Please indicate the ways in which your institution uses television (Check <i>all</i> that apply)		
a.	You do not use television in any way	864	29
b.	On-campus instruction (i.e., courses for students meeting on campus)	1685	56
c.	Off-campus instruction (i.e., courses for students who learn in their homes, offices, etc.)	719	24
d.	Counseling (e.g., role-playing, self-reflection)	9281	31
e.	Outreach (e.g., providing non-instructional services, community forums, or information about the college to the community)	802	27
f.	Promotion/recruitment (i.e., to attract new students to the college)	868	29
g.	Staff development	667	22
h.	Other (Specify)	447	15

## 第B2表

Table B.2:  
Allocation of  
Effort for TV  
Use, 1978-79  
(Asked of  
Respondents  
Using  
Television)

\* Total does not add to  
100 per cent due to  
rounding.

\*\* Includes staff devel-  
opment.

		Average Portion of Total TV Effort at All Using Colleges* (2129)
2.	Please indicate the <i>percentage</i> of your total television effort associated with each of the uses listed below. (Sum of the percentages should equal 100%)	
a.	On-campus instruction for <i>credit</i>	44%
b.	On-campus instruction <i>not for credit</i>	8
c.	Off-campus instruction for <i>credit</i>	11
d.	Off-campus instruction <i>not for credit</i>	3
e.	Counseling	7
f.	Outreach	6
g.	Promotion/recruitment**	9
h.	Other (Specify) _____	11

第B2表に示されているようテレビの使用における2つの特徴が明確に成

った。学内での使用が全体の52%で（学内での使用が14%なのに対して）、単位を与えるためのテレビ使用率は、単位に関係ないテレビ使用率よりもはるかに高い（55%に対し11%である）。教育を目的としない使用は、全体の約22%である。

回答者が記入したテレビの「その他」の使用方法には、教師の現職教育、テレビ番組制作コース、実技分析（例：講演、ドラマ、授業）スポーツやアスレチック、調査研究や芸術家の道具としての使用などが含まれている。

第B1表と第B2表とから、いろいろな目的で、テレビを使用している大学があることが明らかになった。教育以外に利用するとか、コースの補足やエンリッチメントやコースそのものとして使用されている。その後の分析のために、最も使用の多い点に注目して大学を4つのグループに分類した：非使用、教育以外の使用、補助的な教育の使用、コースに使用。第B3表に使用の割合が要約されており、補助的使用が最も高く、次いで非使用、コースの利用、教育以外の利用となっている。1978-79年度には61%（1824）の大学がテレビで授業を開講するか、授業の補助としてテレビを使用している。

## 2. TV番組を流す方法

第I段階で強調した点は、1978-79年度にTV番組を長久保がした方法の種類である（つまり公共テレビ局、商業テレビ局、ケーブル・システム、閉回路システム、また他のテレビシステム）。この点に関する質問は、その年度に、学内及び学外でテレビを使用した1824校だけに限定している。最初にTV番組を流す方法として何を使用したか回答させ（第B4表参照）、次いで最も頻繁に使用している方法をチェックするように指示した（第B5参照）。

### 第B3表

Table B.3:  
Summary of  
Types of Uses of  
Television,  
1978-79

Type of Use	Total (2992)	Per cent (100)
Not using TV at all	864	29
Making Some use of TV	2129	71
Using <i>only</i> for non-instructional purposes	(305)	(10)
Using TV as instructional supplement	(1089)	(36)
Offering <i>courses</i> over TV	(735)	(25)

### 第B4表

Table B.4:  
All TV Outlets  
Used for  
Instruction,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

3. Which type(s) of television outlet(s) do you work with? (Check <i>all</i> that apply and identify as indicated)		Number (1834)	Per cent*
a. Public TV station (Name or call letters) _____	3. a	<input type="checkbox"/> 850	47
b. Commercial TV station (Name or call letters) _____	3. b	<input type="checkbox"/> 460	25
c. Cable system (Name) _____	3. c	<input type="checkbox"/> 509	28
d. Campus closed circuit system	3. d	<input type="checkbox"/> 1089	60
e. Other (Specify) _____	3. e	<input type="checkbox"/> 545	30

\* Multiple responses permitted, so column totals exceed 100 per cent.

### 第B5表

Table B.5:  
Primary TV  
Outlets Used for  
Instruction,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using More than  
One TV Outlet  
for Instruction)

4. If you checked more than one type of television outlet in question 3 with which type do you work <i>most</i> closely? (Indicate <i>one</i> only.)		Number (937)	Per cent (100)
a. Public TV station	4. a	<input type="checkbox"/> 231	25
b. Commercial TV station	4. b	<input type="checkbox"/> 98	10
c. Cable system	4. c	<input type="checkbox"/> 117	12
d. Campus closed circuit system	4. d	<input type="checkbox"/> 367	40
e. Other (Specify) _____	4. e	<input type="checkbox"/> 124	13

一般に大学は、閉回路システムを使用することが最も多く、次いで地元の公共テレビ局、「その他」の方法、そしてケーブル・システムとなり、最も少ないのが地元の商業テレビ局である。回答者が記入した「その他」の方法とは、VTRシステム、ITFS (Instructional Television Fixed Service)、衛星放送、学内図書館と資料センター、マイクロウェーブシステムなどである。

2つの質問(第B4表と第B5表)の回答については、重複を除くため結合して、新しい変数「単一方法と複合方法」を作った。(ひとつのテレビ放映手段しか使用しない大学の場合は、「単一方法」で2つ以上の方法を使用している大学の場合は「複合方法」。第B6表では、この重複しない変数でさえも閉回路システムが他の方法よりもはるかに数が多く(42%)、次に公共テレビ放送(22%)が続いている。

1978-79年にテレビを教育に利用した大学にとって、テレビは新しいメディアではなかった。平均7年ぐらいテレビを使用していた(第B7表参照)。その範囲は、1年から30年であった。7%の大学だけが、初めての経験であった。

第B6表

Table B.6:  
Sole or Primary  
TV Outlets Used  
for Instruction,  
1978-79  
(Computed for  
All Respondents  
Using Television  
for Instruction)

Type of TV Outlet	Total (1824)	Per cent (100)
Public TV Station	393	22
Commercial TV Station	126	7
Cable System	163	9
Campus Closed-circuit System	770	42
Other	372	20

第B7表

Table B.7:		Total (1824)
Number of Years Working With Sole/Primary TV Outlet, 1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)	Number of years:	
	Mean	7
	Median	5
	Mode	5

大学によって、どのようにTV番組を流しているかについては大きな相違があった(第B8表参照)。

第B8表

Table B.8:		Number (1824)	Per cent*
Characteristics of Relationship With Sole/Primary TV Outlet, 1978-79 (Asked of Respondents Using Television for Instruction)	6. Please describe your relationship with that television outlet. (Check <i>all</i> that apply.)		
	a. College and outlet co-produce programs	6. a <input type="checkbox"/>	358 20
	b. College produces programs using outlet facilities	6. b <input type="checkbox"/>	429 24
	c. Outlet airs programs acquired by college	6. c <input type="checkbox"/>	529 29
	d. Outlet airs programs produced by college	6. d <input type="checkbox"/>	560 31
	e. Outlet acquires programs on behalf of college	6. e <input type="checkbox"/>	288 16
	f. Outlet airs programs it selects and lets college offer them for credit	6. f <input type="checkbox"/>	326 18
	g. Outlet provides promotion time for instructional programs	6. g <input type="checkbox"/>	290 16
	h. Outlet provides college with preview facilities and time	6. h <input type="checkbox"/>	332 18
	i. Outlet provides college with dubbing services	6. i <input type="checkbox"/>	306 17
	j. Outlet provides college (or student directly) with support materials (e.g. study guides)	6. j <input type="checkbox"/>	244 13
	k. Outlet provides other services to college or students (Specify)	6. k <input type="checkbox"/>	410 23

\* Multiple responses permitted, so column totals exceed 100 per cent.

特に目立ったものはなかったが、リストの中で最も高いものは、「大学が制作した番組を放映手段が放送する」ことであり、次いで「大学が入手した番組を放送局が放映する」ことであった。両者とも大学の活発な役割を示している。最も低いものは、流しているところからの大学とか学生への補助教材（例：勉強の手引）の提供、宣伝・時間の提供、大学に代わってテレビ番組権を獲得することなどである。これらの特徴は、流すところが積極的な役割を示したものである。

TV番組を流すところが提供する大学や学生への「その他のサービス」とは、ラボの研修期間、他の学生の訓練、コンソーシアムのサービス、公共サービス情報（PSA）、ケーブル・チャンネルの専有、テープ貸し出し、技術的援助、加入者の住所リスト（ケーブル）を含んでいる。

### 3. テレビで開講されているコース

本研究では、テレビの補助的使用と教育以外の使用も調査しているが、中心となるのはテレビで開講している単位を目的とするまたはしないコースである。735校の大学（全大学の25%）が、1978-79年度にテレビを通してコースを1つ以上開講したことがわかった（第B9表参照）。この735校で開講した平均コース数は9コースであったが、中央値は4で、最頻値は1であった。テレビで例外的に数多くコースを開講する大学が比較的小数であるが存在するので、中央値を大きくする傾向がある。735校の開講コース総数は6,884である。

平均登録についても、コースあたりの登録数が異常に多い大学であるため、ゆがんでしまっているようである。1校当たりの平均登録数は、9コースで678人で、1コース当たり75人である。中央値は4コースで100人で、最

Table B.9: Course Offerings And Enrollments In Courses Over Television, 1978-79 (Asked of Respondents Offering Courses Over Television)		Courses/Enrollments	Total (735)
	Estimated Aggregate Total N. of Courses		6884
	Courses Reported Per College		
	Mean		9
	Median		4
	Mode		1
	Estimated Aggregate Total N. of Enrollments		498201
	Enrollments Reported Per College		
	Mean		678
	Median		100
	Mode		20

頻値は1講座で20人であった。総登録数は、498,201人である。2～3の例外はあるものの、これらの数字からテレビによるコースは、伝統的な学内のコースの登録数ほど多くないようである。

1978-79年度テレビでコースを開講した735校のうち、162校のみが放送時間料金を支払っている。1時間当たりの放送料金は、10ドルから375ドルの範囲で、平均すると117ドルであった。小数ではあるが、制作施設を借りて煎るところがあった(735校のうち15校のみ)。

制作施設費の平均は102ドルで、その範囲は18ドルから225ドルであった(この料金幅が、規定料金の差によるものか施設の相違によるものか他の要因によるものか、本調査では何も言えない)。



#### 4. テレビ・コンソーシアムの会員

一見したところ、教育の目的でテレビを使用する重要な要因として、テレビ・コンソーシアムの会員であるかないかはあまり関係していないようである。教育の目的でテレビを使用する全大学の28%が、テレビ・コンソーシアムの会員であると報告している（第B10表参照）。しかし、この事柄を詳しく調べれば興味深い発見があるだろう。

第B10表

Table B.10:  
Television  
Consortium  
Membership,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Using Television  
for Instruction)

		Number (1824)	Per cent (100)
8. Is your institution a member of a consortium of colleges offering or producing televised courses?			
a. Yes	Name _____ Location _____	516	28
b. No		1308	72

#### 5. 教育の目的でテレビを使用してきたか、また将来も使用するか

1978-79年度にテレビを教育に利用していない大学は1169校で、その大学に対して、過去にテレビを使用した経験があるかどうか、将来テレビを使用するつもりがあるかどうかを質問した。20% (228校)が、以前にテレビを教育に利用した経験があり、37%(431校)が将来テレビを使用する計画があることをあきらかにしている（第B11表参照）。さらに分析した結果、過去にテレビを教育に利用した経験があると回答した大学の61%が、将来テレビを使用する計画をしており、一方、使用経験のない大学は、30%が将来テレビを使用する計画をもっているということであった。これは、テレビの教育利

用を中断している大学の多くが、一時的に中断していることを示している。

第B11表

Table B.11:  
Past and Future  
Uses of  
Television for  
Instruction,  
1978-79 (Asked  
of Respondents  
Not Using  
Television for  
Instruction)

			Number (1169)	Per cent (100)
9. If you are not now using television for instruction, have you ever used it?				
a. Yes	9. a	<input type="checkbox"/>	228	20
b. No	9. b	<input type="checkbox"/>	941	80
10. If you are not now using television for instruction, do you plan to use it?				
a. Yes	10. a	<input type="checkbox"/>	431	37
b. No	10. b	<input type="checkbox"/>	738	63

## 6. テレビの教育利用に関する条件

テレビの教育利用に関連する最も重要な3つの条件とは、大学の援助の有無、教官の関与の有無、希望どおりのコースがあるかどうかということである。回答した大学の62%が、「この大学では必要とされる補助的サービスが得られるよう配慮されている／いない。」(例：教員との連絡、融通のきく登録手続き)というプラスの要因にしろマイナスの要因にしろチェックした。-22%はプラスとして、40%はマイナスとしてチェックしている(第B12表参照)。60%は「テレビを教育に利用することに教員は同意している／同意していない」にチェックした(27%はプラスの要因として、33%はマイナスの要因として)。54%が「学問的ニーズとこの大学の水準とが見あうコースがある／ない」にチェックした(26%がプラスに、28%がマイナスに)。

最も重要度の低い2つの要因は、番組を流すためのビデオテープの処理と放映に関することであった。

各要因は、テレビの教育利用を促進する要因として重要であるならば、抑制する要因としても重要なものとして挙げられている。

第B12表

Table B.12:  
Conditions  
Related to the  
Use of  
Television for  
Instruction,  
1978-79 (Asked  
of All  
Respondents)

\* Multiple responses  
were permitted, so  
column totals exceed  
100 per cent.

11. Please indicate which of the factors below have contributed to or hindered the use of television for instruction by your institution. (Check only those factors which have been *most* important and check only *one* column for any factor.)

	Contributed		Hindered	
	Number (2993)	Per cent*	Number (2993)	Per cent*
a. There (are/are not) courses available which meet the academic needs and standards of this institution				
11. a	781	26%	844	28%
b. Owners of the TV outlet(s) (are/are not) sympathetic to this institution's goals for television use.				
11. b	620	21	275	9
c. Our faculty members (are/are not) sympathetic to the use of television for instruction.				
11. c	811	27	982	33
d. Desirable blocks of time (are/are not) available for airing instructional programs.				
11. d	443	15	578	19
e. The TV outlet(s) (are/are not) consistent in handling tapes properly (e.g., mishandling, damage, and loss of tapes is rare).				
11. e	440	15	108	4
f. The TV outlet(s) (are/are not) consistent in the airing of tapes (e.g., programs aired in correct order, infrequent preemption).				
g. Program schedules (are/are not) confirmed and announced far enough in advance of air date.				
11. g	488	16	350	12
h. Print materials designed to accompany televised courses (are/are not) available.				
11. h	515	17	248	8
i. This institution (is/is not) readily able to provide necessary support services (e.g., faculty contact, flexible registration procedures).				
11. i	661	22	1197	40

Contributing to:		Hindering:	
Faculty commitment	27%	Institutional support	40%
Available courses	26	Faculty commitment	33
Institutional support	22	Available courses	28
TV owners' attitude	21	Air times	19
Print materials	17	Confirmed program schedules	12
Confirmed program schedules	16	TV owners' attitude	9
Air times	15	Print materials	8
Tape handling	15	Tape airing	5
Tape airing	15	Tape handling	4

Some factors both contribute to and hinder the use of television for instruction at large numbers of institutions. The fact that the first three factors on each line are identical is testimony to their importance for the successful use of television for instruction.

Peter J. Dirr\* , Joan H. Katz\* & Ronald J. Pedone\*\* (1981)

Higher Education Utilization Study Phase I : Final Report.

Washington, D.C. : Corporation for Public Broadcasting

\* Corporation for Public Broadcasting

\*\* National Center for Education Statistics